

平成26年度 中国高等学校バスケットボール 新人大会

広島県高体連バスケットボール部[公式ボックス・スコア]

試合日	平成27年2月8日
開始時間	9:00~
会場	安佐南区スポーツセンター
コート	A
試合順	第1試合(準決勝)

TeamA:		TeamB:
就実	16 - 17 10 - 10 14 - 18 20 - 21	松江商業
60		66

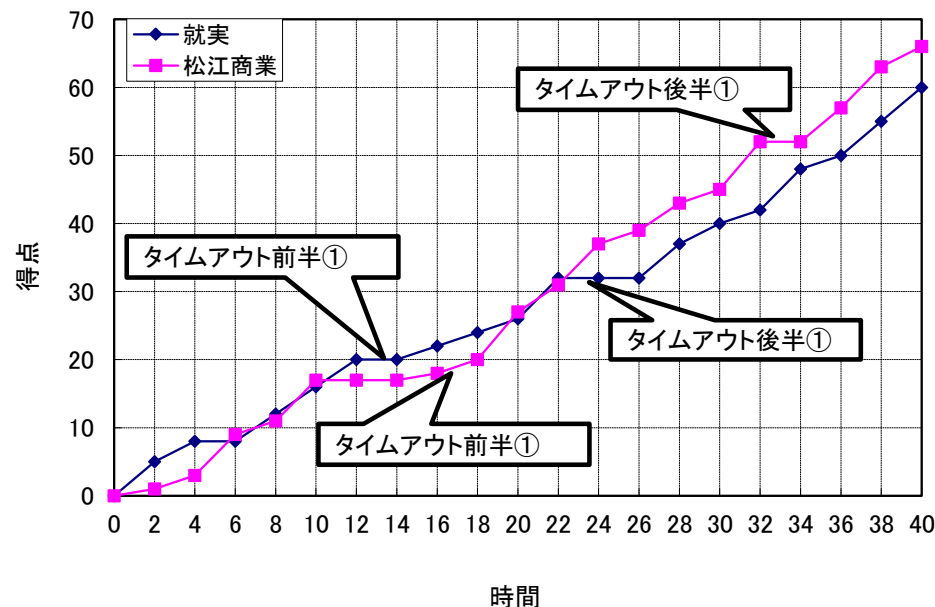
TeamA: 就実

No	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F
				M	A	M	A	M	A	
4	x	久山羽菜	2			1	4			
5		藤本鈴	0							1
6		藤原麻衣	0							
7	x	折居七海	23	2	2	8	14	1	2	
8	x	青木翔菜	21	3	9	5	18	2	2	5
9	x	本多瀬奈	8			4	8			1
10		米田遥	0							
11		岡田七海	0							
12	x	塩見あずさ	6			1	5	4	4	3
13		池下侑	0							
14			0							
15			0							
16			0							
17			0							
18			0							
Coach	佐原雅明									
合計		60	5	11	19	49	7	8	10	
		RATE	45.5%	38.8%	87.5%					

TeamB: 松江商業

No	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F
				M	A	M	A	M	A	
4	x	梶原有里菜	12		1	6	11			3
5	x	荒木夏帆	18	1	2	5	16	5	8	
6	x	橋本花菜	20		2	8	16	4	6	2
7		野々村佳那	0							
8		山崎加奈	0							
9		北川美紅	0							
10		白石美衣羽	0							
11	x	足立菜摘	4		2	2	5			
12		天山朋美	0							
13		安達明日香	0							
14		宇津崎日香	0							
15		野津遥	0							
16	x	王佐菜月	12		4	6	13	1	1	1
17		角京香	0						1	
18			0							
Coach	玉井良典									
合計		66	1	11	27	61	9	16	6	
		RATE	9.1%	44.3%	56.3%					

2分ごとの得点推移



【戦評】

記入者 熊本裕一朗

女子準決勝、岡山2位の就実と島根1位の松江商業の一戦。
 1P、就実スタート④⑦⑧⑨⑫、松江商業スタート④⑤⑥⑪⑬、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。
 就実ポールでスタート。就実は⑦のインサイド、⑧のオールラウンドなプレーが攻撃の起点となる。松江商業は⑥を中心としたドライブ中心で攻撃を組み立てる。両チーム自分たちの得意なプレーで点を重ねる。16-17で松江商業が1点リードで1P終了。
 2P、就実は1Pと同様にインサイドを中心に攻め、Defが中に集まると外から⑧の1on1で攻めるが松江商業もDefを頑張り、就実にいいシュートを打たせない。松江商業も外からの1on1を中心に攻めるが高さのあるカバーDefでシュートが決まらない。26-27で松江商業のリードで2P終了。
 3P、松江商業はポストのDefを頑張り、就実は攻撃の要である⑦⑧がいいシュートを打てない。松江商業はDefリバウンドから速攻が出て点差が5点差となったところで就実はタイムアウト。タイムアウト後も⑥の1on1で点を重ねる。就実も⑧の3P、⑦のポストからの1on1で点を重ねるが40-45で松江商業4点リード。
 4P、松江商業④のジャンプショットでスタート。Defでは高さのある就実に対し、ポストからの1on1のDefを頑張る。リバウンドからの速攻で点を重ね、点差を10点まで広げる。就実も⑦のポスト、⑨のミドルで点差を縮め、残り6分で4点差までつめ、松江商業タイムアウト。タイムアウト後、松江商業はインターセプトから速攻で再び点差を広げる。
 就実は⑦の3Pで点差を6点に縮めるも、Defリバウンドを頑張った松江商業が決勝に駒を進めた。

主審 大谷秀紀 | 1副審 竹内智巳 | 2副審 養原菜津子